

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	ヨシダ ヒロミ 吉田 弘美	職名 人間学部	講師 心理福祉学科	取得学位 (大学名) (取得年月)	修士(健康福祉) 東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科 2005年3月
------------	------------------	------------	--------------	-------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
①社会福祉士 2021 年度カリキュラムにおける実習教育研究会の実施	2022・10～	令和5年度より開始される「新カリ実習」へ向けて、宮城県内の養成校・社会福祉士会・実習指導者からメンバーを構成し、実習の枠組みの共有や実習教育・指導のあり方を検討することを目的に研究会を発足した。月1回(第1土曜)を定例会として、情報交換や共同研究を行っている。
②介護実習事例報告会の実施	2018.4～2023.3	介護福祉士養成課程では最終段階の介護実習終了後に、現場で学んだ受け持ち利用者の介護過程の展開を振り返り、事例報告集を作成している。特に、アセスメントと考察の個別指導を丁寧に行い、学生と語り合う中で介護観・福祉観をみつめる機会としている。 可能な限り、在学生、施設の実習指導者や入学を予定している高校生に参加を働きかけ、プレゼンテーション方法の向上につなげている。
③生活支援技術の授業展開の工夫	2018.4～2022.3	「移動の介護」では、1年次の基礎学習を発展させ、泉中央付近での車いす外出を2年次に実施した。グループで立案した外出支援計画書に沿って体験学習を行い、事後指導にはレポート作成や報告会を行った。要介護者および介護者、地域住民の立場で多角的に考察することができた。また、「福祉用具の活用法」の単元では、リハビリテーション工学の視点から評価する演習を行い、観察力、分析力を養った。
④「心理福祉基礎演習ⅠⅡⅢⅣ」ゼミ研究成果報告会の開催	2018.4～	初年次教育の学部共通科目「共通演習」を発展させ、「心理福祉基礎演習」で身近な地域課題にかかわるフィールドワークに向けて指導している。また、学科基演習の成果発表の機会として、白百合祭ならびに公開講座を企画運営する。学生の主体性・協調性・プレゼンテーション力を高め

⑤「心理福祉専門演習ⅠⅡⅢⅣ」の授業展開の工夫	2018.4～	ると同時に、学科の教育の特色をアピールしている。 ゼミの大テーマである「施設における高齢者や障害者の生活のあり方」をもとに、学生自身の問題意識を尊重しながら研究テーマを設定している。文献研究のほか学外授業も取り入れ広い視野で学習を深めている。成果として、3年・4年合同の報告会やゼミ論の執筆、2021年度入学生からは学科必修として卒業研究指導に取り組む。
⑥「国際福祉体験実習」研修報告書の作成	2018.4～	心理福祉学科のグローバルWG担当として、研修の企画立案と運営に携わる。2016年度以降は活動報告書を作成し、学科の成果物としてオープンキャンパス等で紹介している。
⑦「介護総合演習ⅠⅡⅢ」の授業展開の工夫	2018.4～	介護実習の事前教育(アクティブラーニング)として介護現場を訪問し、学生自身が主体的に企画したアクティビティを実践することで、利用者とのコミュニケーション力や個別ケアの実践力を養った。
⑧学生生活実態調査の実施	2019・8	2014年度に初めて実施された学生生活実態調査から5年が経過し、学生の動向や変化を把握するために2回目の調査を行った。教学委員会のワーキンググループリーダーとして取りまとめを行う。回収率を上げるためにweb調査とし、結果は大学ホームページ上で公開した。
⑨「共通基礎演習」	2020.4～2021.3	本学の初年次教育の基礎となる学部共通科目として2019年度より開講し2年目となる。2020年度の科目担当として、授業案作成など教育プログラムの検討を行った。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[論文] 「介護過程の展開」実践力育成の課題	共	2022・3	聖和学園短期大学紀要 第59号	家子敦子 東海林初枝		117-135

〔報告書〕 「介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究報告書」第3報	共	2022・3	社会福祉振興関係調査研究事業の助成研究 社福振福二第44号	本名 靖 東海林初枝 家子敦子 久田はづき 山川ひかり	1-68
〔報告書〕 「介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究報告書」第2報	共	2021・3	社会福祉振興関係調査研究事業の助成研究 社福振福二第44号	本名 靖 東海林初枝 家子敦子 久田はづき 山川ひかり	1-53
〔報告書〕 「介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究報告書」第1報	共	2020・3	社会福祉振興関係調査研究事業の助成研究 社福振福二第44号	本名 靖 東海林初枝 家子敦子	1-63
〔論文〕 「環境因子から見た介護福祉士養成の現状」	単	2017.3	仙台白百合女子大学紀要第21号		87-97
〔報告書〕 東日本大震災における支援物資としての介護機器の支援状況に関する検証研究	共	2013.5	第23回フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団報告書	吉田泰三 樫本堅一 他1名	1-30
〔研究ノート〕 初めての施設実習で遭遇した気がかりと感じた場面の分析～第1段階介護実習のリアクションペーパーより～	共	2011.1	仙台白百合女子大学紀要 第15号	家子敦子	89-96

[資料] 介護福祉士のための福祉用具評価ツールに関する一考察	単	2011.1	仙台白百合女子大学 紀要 第15号			97-107
-----------------------------------	---	--------	----------------------	--	--	--------

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
(共)熊本地震における「支援物資としての福祉用具」に関する研究	2017.8	第32回リハ工学カンファレンス(兵庫県神戸市)
(共)介護職員に向けた介護過程展開シートの考案 －介護過程展開法の施設研修の実施より－	2014.10	第12回日本介護学会(山口)
(共)施設介護職員へのキャリアアップ支援[第3報] －介護過程実践研修前後の意識の変化－	2013.10	第21回日本介護福祉学会大会(熊本)
(共)「施設介護職員へのキャリアアップ支援」 －現場の実事例を用いた介護過程の実際－	2012.9	第20回日本介護福祉学会大会(京都)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本介護福祉教育学会		2001.4
日本介護福祉学会		2002.4
日本介護学会		2004.3
日本社会福祉学会		2005.3
日本行動療法学会		2009.6

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度	助成プログラム	研究テーマ	助成金額

	(西暦)			(円)
公益財団法人 日本レクリエーション協会	2023	令和5年度研究助成事業	レクリエーション課程認定校が開催する地域交流「健康スポレクひろば」の実践—レクリエーション活動が高齢者にもたらす健康効果—	4.5 万円
公益財団法人社会福祉振興・試験センター	2019	社会福祉振興関係調査研究事業の助成研究 社福振福二第44号	介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究(Ⅰ期)	300 万円
公益財団法人社会福祉振興・試験センター	2020		介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究(Ⅱ期)	300 万円
公益財団法人社会福祉振興・試験センター	2021		介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究(Ⅲ期)	298 万円

3. 特記事項

[非常勤講師]

・白百合学園高等学校 2 年生「福祉総合」2018・12-2019・1、2023・11

[研修会講師など]

・平成 26 年度介護福祉士養成施設実習指導者特別研修会講師(「介護過程の理論と指導方法<演習>」担当) 2014・7

[教員講習会の受講状況]

・社会福祉士・精神保健福祉士実習演習担当教員講習会修了 2019・8・

・介護技術講習会主任指導者 2008.9

介護教員講習会修了(厚生労働省)2007・10

[委員等]

- ・宮城県「ケアスタッフサポートセンター」相談員 2023・7-2024・2
- ・みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度(第2段階)確認調査員 2020・4～
- ・社会福祉法人仙台白百合会評議員 2017・4～
- ・第26回介護福祉士国家試験(実技試験)実地試験委員 2014・3
- ・平成25年度仙台市泉区介護認定審査会委員 2013・4～2017・3、2019.4～
- ・平成23年度介護福祉士養成施設卒業時共通試験問題作成協力員 2011・7

[社会貢献など]

- ・平成24年度被災者就労支援事業 2級訪問介護員養成研修 2013・1、2013・2
- ・被災者就労支援事業 2級訪問介護員養成研修 「高齢者、障害者の心理」、「相談援助とケア計画の方法」、「実習前指導」の講義担当 2012・2
- ・宮城県介護福祉士会の要請により、東日本大震災時の避難所での夜間介護支援に従事する。2011・3、2011・5

[宮城県介護従事者人材確保対策事業]

- ・2018年度 宮城県介護従事者人材確保対策事業入学促進事業(94万円)
- ・2017年度 宮城県介護従事者人材確保対策事業入学促進事業(530万円)

[学内活動]

- ・仙台白百合女子大学後援会理事 2019・4～2020・3
- ・2019年度学生生活実態調査の実施、報告書作成(教学委員会副委員長)2019・4～2020・3
- ・白百合カフェ(認知症カフェ)の開催 2016・3～2017・3
- ・2014年度仙台白百合女子大学出張講座 2014・6(三戸高校)、2014・11(石巻北高校)
- ・サークル「チアリーダー部 VELVETS 顧問 2010・4～